

モモ病害虫の発生状況（9月上旬）

（1）モモせん孔細菌病

新梢葉での発生ほ場割合は、福島地域では平年並、伊達地域では平年より低い状況でしたが、中発生ほ場が確認されています（図1）。降雨前の秋期防除を徹底し、越冬菌密度の低下を図りましょう（令和5年8月29日付け防除情報参照）。

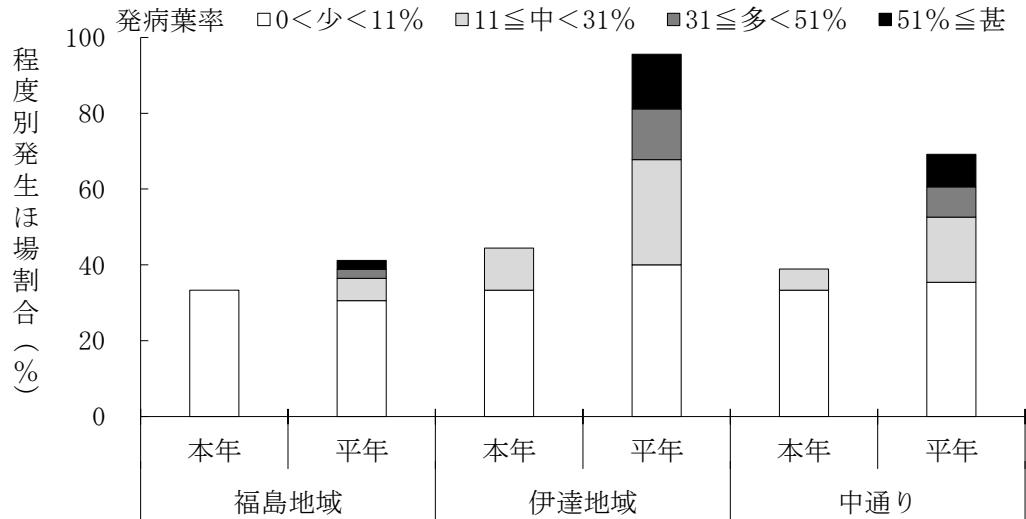


図1 モモせん孔細菌病の新梢葉での発生状況（9月上旬）

（2）モモハモグリガ

新梢葉での被害は確認されず、発生ほ場割合は平年より低い状況でした（図2）。

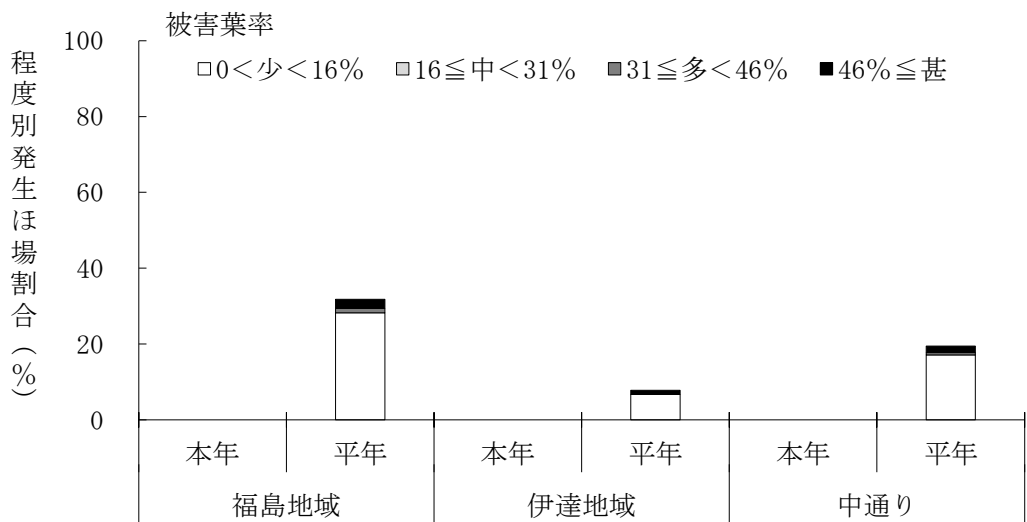


図2 モモハモグリガの発生状況（9月上旬）

（3）ハマキムシ類

新梢での被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。

(3) ハダニ類

新梢葉の寄生ほ場割合は福島地域が平年並、伊達地域が平年より低い状況でした(図3)。

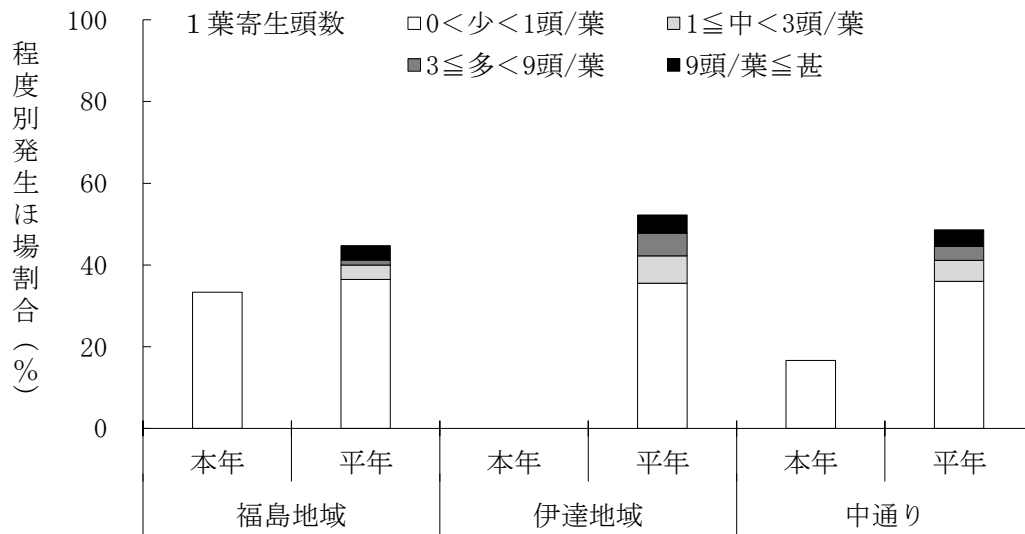


図3 ハダニ類の発生状況 (9月上旬)

(4) ナシヒメシンクイ

新梢のナシヒメシンクイによる被害の発生ほ場割合は平年より高い状況でした(図4)。

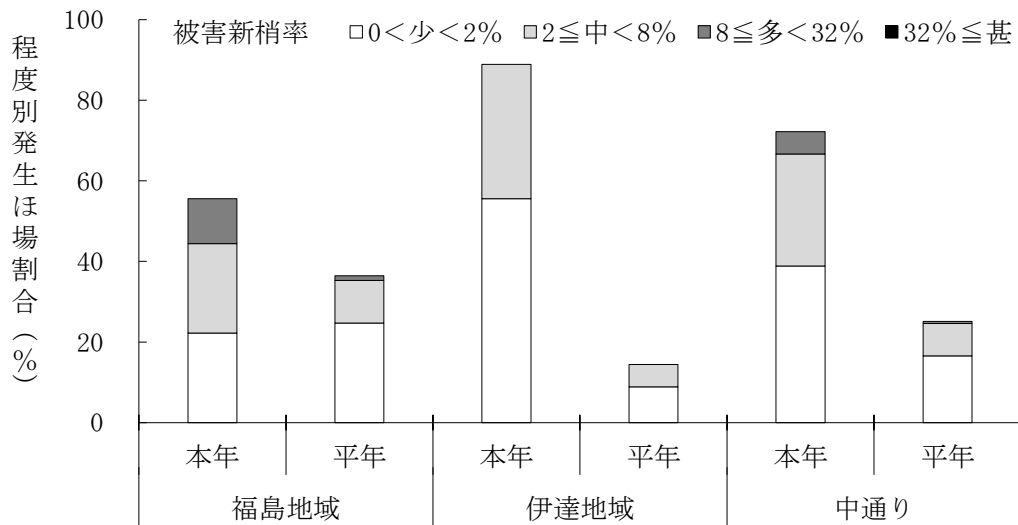


図4 ナシヒメシンクイによる新梢の被害状況 (9月上旬)